

沖縄担当大使通信 第8回 活動分野の広がり

2026 年（令和 8 年）7 月 31 日



黒石亮外務省南米課長による中南米講演会
(2026 年 7 月 22 日、於：JICA 沖縄)

7 月もいよいよ最終日になりました。沖縄でも本格的な夏に入り、周りに観光客が徐々に増えています。時折の台風に見舞われながらも、那覇市にある事務所を拠点に県内各所を訪問し、日々の仕事に取り組んでいます。

今月は一連の行事に出席して、外務省沖縄事務所の活動分野の広がりを感じています。在沖米軍のトップを務める第 3 海兵遠征軍司令官の交代式など米軍関連の行事に加え、外務省サマープログラム（旧：外務省本省インターンシップ）に参加する学生への沖縄銀行による支援贈呈式、来年開催予定の「世界のウチナーンチュ大会」を視野に入れての外務省南米課長の来訪と講演会、スタートアップ連携に向けての KOZAROCKS2026 への参加、欧州文化都市と沖縄文化関係者のマッチング行事など、沖縄の国際交流や経済・文化面での取組に関連する行事に出席しました。今月の通信では、外務省沖縄事務所の活動分野の広がりについて焦点を当てて報告させていただきます。



第3海兵遠征軍司令官・在日米海兵隊司令官交代式
(2026年7月15日、於：キャンプ・フォスター)

●司令官交代式

司令官交代式は、米軍にとって司令官隷下部隊の任務と意義を再確認するとともに、内外双方の関係者への謝意を表明するための重要な機会です。7月15日、キャンプ・フォスターで、2年半の任務を完了したロジャー・ターナー第3海兵遠征軍・在日海兵隊司令官からベンジャミン・ワトソン新司令官への[司令官交代式](#)が行われました。同司令官は、在沖米軍四軍調整官（在沖米軍のトップ）を務めています。

私は幾度も司令官交代式に出席してきましたが、特に今回はグラス駐日米国大使や米軍各軍、三自衛隊、韓国・フィリピン軍の将官をはじめハイレベルの出席者が一堂に会し、第3海兵遠征軍が地域で果たす重要な役割を内外の関係者に強く印象付けるものでした。メディアにも公開され、広く報道されました。

上官のグリーン太平洋海兵隊司令官、離任するターナー司令官、着任するワトソン司令官とも、自らのことばで第3海兵隊の任務を説明するとともに、兵士各人や家族の貢献に対するねぎらいのことばをかけていました。



外務省サマープログラム 2026 支援贈呈式
(2026 年 7 月 17 日、於：沖縄銀行本店)

●外務省サマープログラム

外務省は「[サマープログラム](#)」として、日本人の大学生に対してインターンシップの機会を提供しています。これは、外務省の活動や日本外交への理解を深め、外交や国際関係業務に携わる人材の裾野を拡大することを目的とするものです。沖縄から参加する大学生には、2017 年度から毎年、沖縄銀行がインターン生の渡航費・宿泊費を支援して下さっています。

7 月 17 日、本年度の外務省サマープログラムに採用された沖縄県内の学生 4 名に対する[支援贈呈式](#)が沖縄銀行本店で開催されました。本年は、沖縄キリスト教学院大学、嘉手納外語塾、名桜大学、琉球大学の学生が、文化交流・海外広報課、国内広報室、緊急・人道支援課、専門機関室で、それぞれ 10 日間のインターンシップを経験します。

私から学生の皆さんに対しては、このサマープログラムを通じて日本の外交について大いに学び、沖縄から地域と世界の平和と繁栄に貢献するための架け橋の役割を今後とも担っていくことを期待しているとのメッセージを贈りました。



仲村きらら外務省沖縄事務所主査による外務省キャリア講演会
(2026年7月24日、於：名護高校)

●様々なテーマの講演会

外務省沖縄事務所では、国際情勢、地域情勢、日本外交、外務省のキャリア等について外務省員が説明する講演会を、県内の学校や企業、団体のニーズに応じて開催しています。

来年10月に沖縄で開催予定の第8回世界のウチナーンチュ大会を視野に入れ、7月21日～22日に黒石亮・外務省南米課長（前外務省沖縄事務所副所長）が沖縄を来訪しました。JICA 沖縄に県系人交流関連自治体・団体等の関係者を招いて、最近の中南米情勢や日本の中南米外交、中南米日系社会との連携推進に関する講演会を開催し（1頁目写真）、沖縄県庁や経済界とも意見交換を行いました。6月22日には舟津龍一・外務省経済安全保障課長が、沖縄銀行の招きで同行職員の皆様に、経済安全保障や中東における諸課題に関する講演を行っています。7月24日には、名護市出身で外務省沖縄事務所の仲村きらら主査が沖縄県立名護高校を訪問して、外務省の仕事や外交官としての経験について講演を行い、メディアでも報道されました。7月22日には、高尾直・日米地位協定室長が、総理通訳の経験を踏まえて、県内自治体及び米軍の通訳担当者向けに通訳講座を行いました。外務省沖縄事務所では、講演依頼を随時受け付けておりますので、お気軽にご連絡ください。



KOZAROCKS 2026

(2026 年 7 月 10 日、於：コザ・ミュージックタウン音市場)

●スタートアップ との連携

外務省は全世界に在外公館のネットワークがあり、スタートアップの海外展開や社会課題解決のための共創を支援しています。沖縄でも連携の可能性を追求すべく、7 月 10 日～11 日にコザ・ミュージックタウン音市場とコザスタートアップ商店街（KSA）で開催された [KOZAROCKS 2026 に参加](#)しました。

初日の開会式では花城大輔沖縄市長が挨拶し、冒頭セッションの「拠点都市・沖縄の NEXT ステージ～日本とアジアをつなぐスタートアップエコシステムの描き方～」では、GW2050 PROJECTS 推進協議会の本永浩之代表理事やスタートアップエコシステム協会の藤本あゆみ代表理事が登壇しました。台風の影響で多くのセッションが中止されましたが、翌日のコザスタートアップ商店街での交流会には多数の関係者が集まりネットワーキングを行っていました。

私も会場で、関係者の皆様と今後の協力・連携に向けて意見交換を行いました。前任地の ASEAN 日本政府代表部で、日 ASEAN スタートアップ協力などの取組を進めてきた経験を生かしながら、可能な取組を進めたいと思います。



Meet Up ECoC! – Face to Face – 2026 in Okinawa
(2026 年 7 月 18 日、於：那覇市りゅうぎんホール)

●欧州と沖縄の文化交流

国際文化交流も重要な分野です。週末の 7 月 18 日、EU・ジャパンフェスト日本委員会は、沖縄県及び内閣府沖縄総合事務局と共催で、欧州文化首都と沖縄の文化関係者とのマッチングイベント「[Meet Up ECoC! – Face to Face – 2026 in Okinawa](#)」をりゅうぎんホールで開催しました。

欧州文化首都 7 都市によるプレゼンテーションに続き、沖縄側からは三線、首里織、漆芸、写真、現代アート、音楽など第一線で取り組まれている方々が一堂に会しての紹介があり、最後にゆんたくネットワーク会が開催されました。欧州側の関係者は、このイベント以外にも沖縄各所を訪問して、視察や意見交換を行ったとのことでした。

私も[全てのセッションに参加](#)して、欧州が主導し世界を巻き込む文化イニシアティブや、沖縄の伝統・現代文化を推進する様々な取組についてお話を伺い、関係者にご挨拶させていただきました。沖縄の文化関係者が、既に国際交流基金や在外公館とも連携しながら欧州との文化交流を進めていると知り、大変心強く思いました。在シドニー総領事館での在勤時に、日本祭りでエイサーや紅型など沖縄の文化芸術の紹介に関わった経験も生かしながら、これから世界各地と沖縄の国際文化交流の取組を応援していきたいと思います。



豊原区アブシバレー・ハーレー大会の御願（ウガン）バーレー
(2026年7月19日、於：名護市豊原クンジダー浜)

●沖縄の伝統行事への参加

週末には、沖縄各地での伝統行事に参加して、地元の皆様との交流を深めながら、文化や歴史を学んでいます。7月19日、名護市豊原クンジダー浜で[豊原区アブシバレー・ハーレー大会](#)に参加しました。私は職域対抗のレースで漕ぎ手として参戦し、篠原亮子副所長は御願（ウガン）バーレーの鐘打ちを担当する機会を与えていただき、昼には豚汁も振る舞われて、大会長の宮城直美豊原区長をはじめ地元の皆様のご配慮を感じました。

翌20日には、豊崎海浜公園水路で[第19回豊見城ハーリー大会](#)一般レースの開会式に参列し、徳元次人豊見城市長による激励挨拶の後、来賓の皆様と一緒にエキシビジョンレースや一般対抗レースを観戦しました。これからも、大綱引きやエイサーなど様々な行事に参加して、沖縄の文化や歴史への理解を深めていきたいと思っています。引き続きよろしくお願い申し上げます。

沖縄担当大使
紀谷昌彦